

# 宮崎県保育士実態調査へのご協力のお願い

## 保育所施設用

日頃より、保育行政の推進に御協力を賜り誠にありがとうございます。

宮崎県では、今後見込まれる保育ニーズの増大や質の改善に対応するため、保育士資格をお持ちでいながら就労されていない方への再就職や、保育士として就労されている方の職場定着のための支援が重要な課題となっています。

このため、県内の保育施設における保育士の就労状況等を調査することにより、施策を進めていくための参考とすることとしました。

本調査は、宮崎県内の私立保育園（所）を対象に行うものです。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年10月

宮崎県こども政策課

### 回答の方法

1. 回答は、本年10月1日現在の状況をご記入ください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまる番号に○をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合がありますので、質問文をよくお読みになりご回答ください。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的に書いてください。
3. 回答が終わりましたら、記入漏れや記入間違い等がないか確認し、平成26年10月24日（金）までに、同封の返信用封筒（切手は不要）でご返送ください。

※ ご回答いただいた内容は集計のみ使用します。貴施設名を公表することは一切ございません。

### ●調査に関する問い合わせ先

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会 電話：0985-28-5835  
宮崎県 福祉保健部 こども政策課幼保連携担当 電話：0985-26-7057

### ●返送提出先（受託団体）

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会  
電話：0985-28-5835 ・ F A X：0985-28-5989  
E-mail：office@m-hoiku.or.jp

※貴園にお願いしている（保育士用アンケート）についても、回収のうえ、一緒に返信用封筒でご返送ください。

■貴施設の名称、電話番号等をご記入ください。なお、電話番号は必ず保育園（所）の代表番号をご記入ください。

貴施設名		記入者の 職名・氏名	
電話番号	( ) -	FAX 番号	( ) -

**問 1** 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

①施設の所在市町村	( ) 市・町・村		
②施設の種類（番号に○）	認可保育所	1 公設民営	2 私立
③設置主体	1 社会福祉法人 4 その他 ( )	2 宗教法人	3 社協
④運営主体	1 社会福祉法人 4 その他 ( )	2 宗教法人	3 社協
⑤設置年月	昭和・平成 ( ) 年 ( ) 月		

**問 2** 貴施設の定員、現員についておうかがいします。

定員 \_\_\_\_\_ 名      現員 \_\_\_\_\_ 名      ※現員については、9/1日現在の人数を記入してください。

貴施設の職員についておうかがいします。

**問 3** 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

職 種	保育士 (資格あり)		保健師・看護師		調理員 (栄養士含む)		事務職員		その他職員	
	正 職	臨時職	正 職	臨時職	正 職	臨時職	正 職	臨時職	正 職	臨時職
雇 用 形 態										
常 勤 (人 数)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
非常勤 (人 数)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名

※常勤＝1日6時間以上かつ月20日以上

※上記に無い職種は全て「その他職員」に含めてください。ただし、専任所長は記載の必要はありません。



保育職員の職場定着に向けた取組状況についておうかがいします。

**問 7** 貴施設で、昨年度中に自己都合で退職した保育士がいる場合、人数をご記入ください。

- 1 正 職 人  
 2 臨時職 人 (うち常勤 人・うち非常勤 人)

**問 8** 保育士の職場定着のために取り組んでいることは何ですか。また、今後取り組みたいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

項 目	内 容	取り組んでいること	取り組みたいこと	該当なし
①給 与	1 給与水準の引き上げ			
	2 給与体系の改善			
	3 特別手当の充実			
	4 時間外手当			
②勤務時間	1 労働時間の短縮			
	2 休憩時間の確実な取得			
	3 残業の縮減			
③休暇制度	1 休暇を取得しやすい環境の整備			
	2 年度途中での長期休暇取得			
	3 職員の子育て支援体制の充実			
	4 職員の家族介護体制の充実			
④キャリアアップ	1 キャリアアップの仕組みの構築			
	2 保育士・幼稚園教諭資格取得の支援体制			
⑤研修体制	1 施設外研修受講環境の改善			
	2 施設内研修内容の充実			
⑥事務の軽減	1 作成書類の軽減			
	2 事務作業の効率化			
	3 福利厚生の充実			
⑦健康対策	1 腰痛対策			
⑧メンタルヘルス	1 メンタルヘルス対策			
	2 パワーハラスメント防止策の充実			
	3 セクシャルハラスメント対策			
	4 相談窓口の設置			
	5 社会的な評価の向上			
⑨職場環境改善	1 職場の和やかな雰囲気作り			
	2 職員間のミーティングの充実			
	3 特別支援教育加配			
	4 加配職員			

**問 9**

貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む公的支援は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1 職員の給与改善に関する公的支援の充実   | 7 相談支援体制の充実         |
| 2 臨時職から正職への雇用を安定的に継続する | 8 技術・技能評価制度の整備      |
| 3 正職と臨時職の均衡（均等）待遇の促進   | 9 保育士の社会的評価を高める取り組み |
| 4 社会保険・雇用保険の事業主負担の軽減   | 10 助成金や法令等のPR・解説の充実 |
| 5 保育・介護サービスなどの福祉制度の充実  | 11 その他              |
| 6 教育・研修制度の充実           | ( )                 |

保育士の確保に向けた採用の状況についておうかがいします。

**問 10**

昨年度の (1)「新卒」 及び (2)「新卒以外」の採用状況について、該当する数字をご記入ください。(記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。)

	採用予定数		(1) 新卒			(2) 新卒以外
			採用数	うち県内養成施設	うち県外養成施設	採用数
正 職	人	人	人	人	人	
臨時職	常 勤	人	人	人	人	
	非常勤	人	人	人	人	
計	人	人	人	人	人	

- 注 1) 採用予定数について、あらかじめ正職・臨時職の内訳が無い場合は、計のみご記入ください。  
 注 2) (1)「新卒」は、保育士養成施設からの4月採用のみについてご記入ください。  
 注 3) (2)「新卒以外」は、上記以外の全てについてご記入ください。(例として、4月における既卒者の採用や年度途中における新卒者の採用等)

**問 10-1**

昨年度、貴施設において、(1)「採用しなかった区分」及び(2)その「理由」について、選択肢より1つだけ選び記入してください。

(1) 「採用しなかった区分」(1つに○)

- |           |                |                 |
|-----------|----------------|-----------------|
| 1 新卒の正職   | 2 新卒の臨時職（常勤）   | 3 新卒の臨時職（非常勤）   |
| 4 新卒以外の正職 | 5 新卒以外の臨時職（常勤） | 6 新卒以外の臨時職（非常勤） |

(2) その「理由」(1つに○)

- 1 経営上、合理的だから（賃金水準、雇用形態・条件等）
- 2 長期間就業してほしいから
- 3 保育を含め様々な経験や知識を備えているから
- 4 子どもの希望や保護者の意向に合うと考えられるから
- 5 その他 ( )

**問 10-2**

昨年度の採用において、募集に対する応募が、「なかった」または、「募集より応募が少なかった」場合があれば、選択肢より選び記入してください。  
(あてはまるものすべてに○)

- |           |                |                 |
|-----------|----------------|-----------------|
| 1 新卒の正職   | 2 新卒の臨時職（常勤）   | 3 新卒の臨時職（非常勤）   |
| 4 新卒以外の正職 | 5 新卒以外の臨時職（常勤） | 6 新卒以外の臨時職（非常勤） |



- 問11-4** (1)実施している求人手段をお答えください。(あてはまるものすべてに○)  
 (2)その効果について4段階で評価してください。(それぞれ1つずつに○)

	(1) 実施しているもの	(2) 効果に対する評価			
		高い	やや高い	やや低い	低い
①ハローワーク	1 →	1	2	3	4
②県内の保育士養成施設への求人	2 →	1	2	3	4
③県外の保育士養成施設への求人	3 →	1	2	3	4
④就職説明会	4 →	1	2	3	4
⑤友人・知人の紹介	5 →	1	2	3	4
⑥退職した職員への情報提供	6 →	1	2	3	4
⑦その他 ( )	7 →	1	2	3	4

- 問11-5** 現在、保育士の採用に困難を感じていますか。(1つに○)  
 その理由はどんなことですか。

- 1 はい (理由: )  
 2 いいえ

潜在保育士(※)についておうかがいします。

※本調査では、保育士資格を有しているながら、連続した5年以上の期間にわたり保育士として勤務していない方(就労経験の無い方を含む)を「潜在保育士」として扱います。

- 問12** 貴施設において、直近の3年間(平成23年4月以降、現在まで)で潜在保育士を雇用したケースがありますか。(1つに○)

- 1 はい → **問12-1** へ      2 いいえ → **問13** へ

問12で「1. はい」と回答した施設におうかがいします。

雇用した潜在保育士に関し具体的にお答えください。なお、複数名いる場合は直近の方に関してお答えください。

- 問12-1** 雇用した潜在保育士の雇用形態は次のうちどれですか。(1つに○)

- 1 正職員(「短時間正職員」を除く)      2 短時間正職員  
 3 パート・アルバイト      4 その他( )

- 問12-2** 性別についてお答えください。

- 1 男 性      2 女 性

- 問12-3** 年代についてお答えください。

- 1 20歳代      2 30歳代      3 40歳代      4 50歳代      5 60歳代



**問 14**

今後、保育士の雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 潜在保育士の再就職に向けた研修の実施
- 2 再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施
- 3 潜在保育士に登録してもらい、県内の保育所に斡旋する仕組み(人材バンク)
- 4 潜在保育士の再就職を支援するコーディネーターの配置
- 5 ファミリーサポート利用促進
- 6 常勤職員条件の緩和
- 7 その他 ( )

**問 15**

保育士資格所有者が、保育士として就労しない理由は何だと思えますか。

① 個人の状況では(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 家庭との両立が難しい       | 5 自分の適性・能力への不安    |
| 2 自身の健康・体力         | 6 近い将来結婚、出産を控えている |
| 3 給料が生活維持に足りない     | 7 その他             |
| 4 (保育士以外の)他の職種への関心 | ( )               |

② 職場環境では(あてはまるものすべてに○)

- 1 人間関係
- 2 職場における本業以外の業務負荷
- 3 雇用者側の都合(施設の閉鎖・統廃合等)
- 4 雇用条件に不満
- 5 教育・研修体制に不満
- 6 理念・方針への不満
- 7 将来への展望、昇給・昇進への道筋が見えない(キャリアの問題)
- 8 責任の重さ・事故への不安
- 9 IT化についていけない
- 10 その他 ( )

●保育行政などについて、ご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数ですが、調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、10月24日(金)までに返送してください。